

# 南知多町の

10年後



20年後

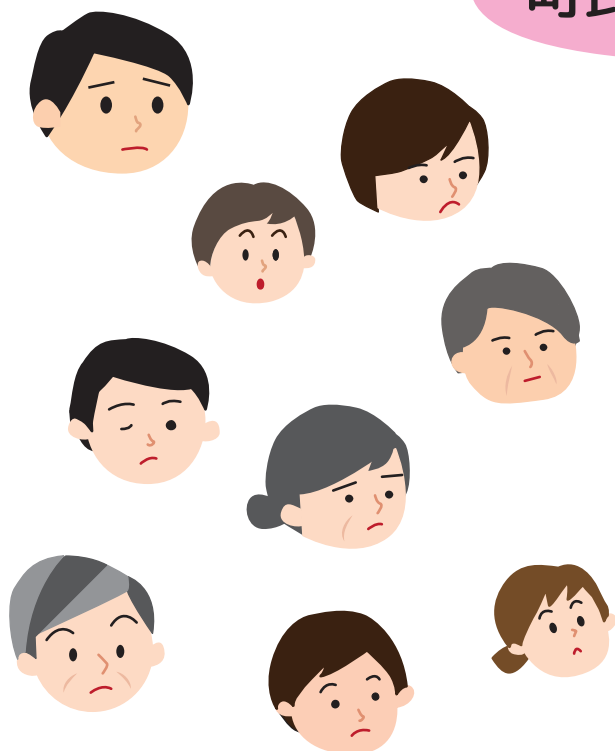


30年後

## 考えたことありますか？

学校、  
公民館などの **公共施設**はいったいどうなる？

町民みんなで考えよう！



発行年 令和6年3月

# 南知多町公共施設再配置計画

# 南知多町の現在と将来

**Q** 南知多町の現在の人口は何人？

**A** 約16,000人(令和5年12月末時点)

**Q** 南知多町の30年後の人口は？

**A** 約6,300人(令和37年)

人口を年齢3区分別にみると、老年人口の割合が増え続ける一方で、生産年齢人口と年少人口は減少し続けており、本計画期間内である令和22年付近には老年人口が総人口の半数程度となることが予想されています。国立社会保障・人口問題研究所による推計では、令和37年には令和2年の4割程度の人口にまで減少するとされています。

**Q** 南知多町には公共施設がいくつある？

**A** 全90施設(総延床面積101,238.1㎡)

身近な公共施設を思い浮かべてみよう!どれくらいあるか知ってる？



例 南知多町町民会館



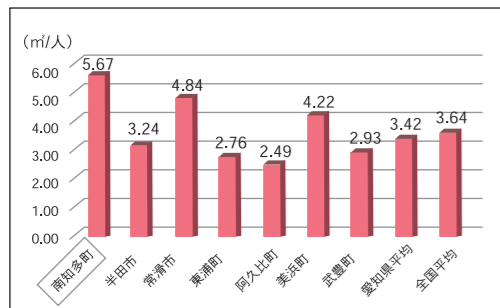
南知多町総合体育館



南知多町役場



人口1人当たりの延床面積は近隣自治体と比較して高い水準にあります!



人口1人当たりの延床面積は  
**5.67㎡/人**

近隣自治体、愛知県平均、全国平均と比較すると高い水準にある

出典: 公有財産延床面積: 総務省 公共施設状況調査(令和2年度)、人口: あいちの人口(人口動向調査(令和3年4月))



## そもそもなぜ再配置が必要なの？



公共施設を維持するには**限界**が来ている…

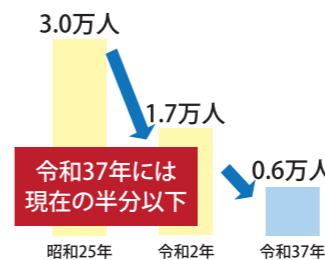
### 課題1 厳しさを増す財政状況

- 生産年齢人口の減少がつづく
  - 高齢化社会の進行
- 一方で、
- ▶ 今後、税金は**減り続ける**
  - ▶ 今後、扶助費は**増加していく**
- 公共施設の更新費用として 1年あたり 平均**26.7億円**必要
- しかし、実際に使える経費は**9.7億円**
- ▶ **不足額=17億円(1年あたり)**

限られた財源の中、効率的な投資で公共施設の機能を維持する必要があります

### 課題2 人口減少への対応

南知多町の人口は…



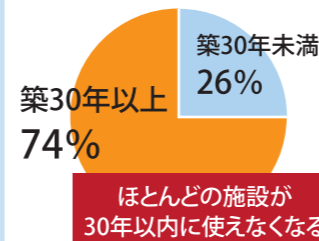
●人口減少は進み続け、令和32年には**現在の半分以下**に

- ▶ 住民1人当たりの費用負担が**重くなる**
- ▶ **公共施設の更新費用として26.7億円必要**

町民ニーズの変化に応じた適正な量や規模、機能の再構築が必要になります

### 課題3 施設等の老朽化

公共施設の老朽化の現状は…



●町の財政・行政サービスへの影響

- ▶ **すべての施設の大規模改修、建て替えは難しい**
  - ▶ 年間生まれる**50人前後の人口**で公共施設を維持する必要がある
- さらに、

出生数(令和4年度)  
**45人**

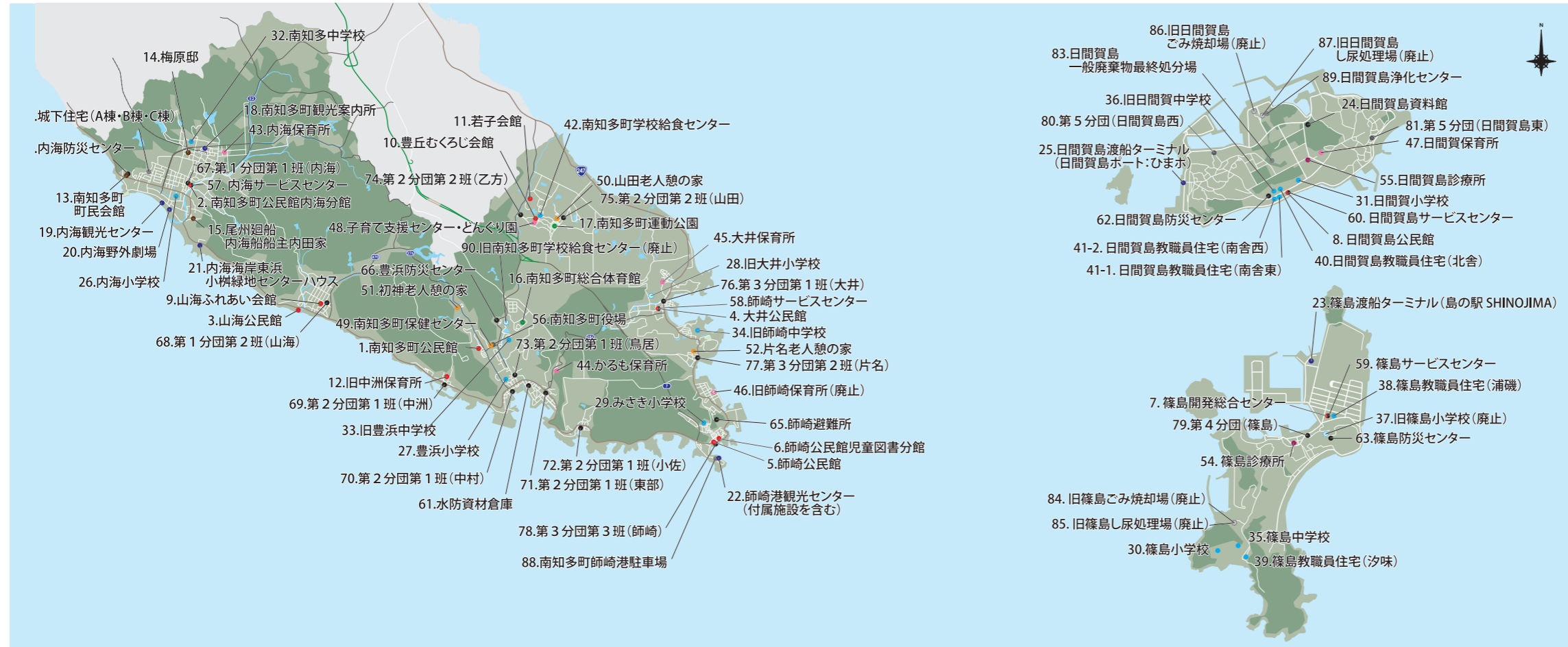
出典: 住民基本台帳

大規模改修・建て替え等にかかる費用を全体的に抑える必要があります

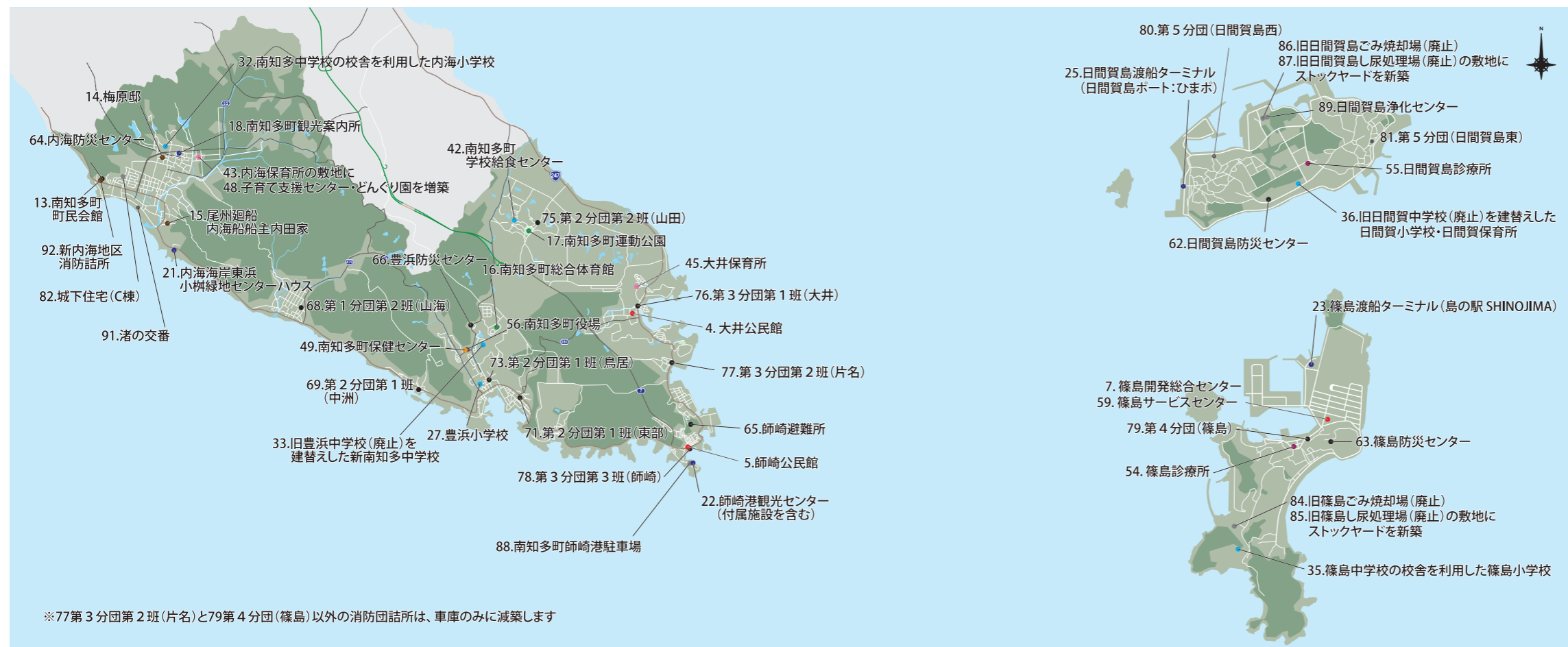
そこで

令和35年度までに公共施設総延床面積の**約50%である50,000㎡を削減**します

## 南知多町の現状



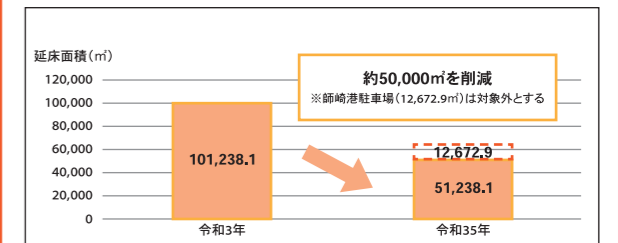
## 南知多町の30年後



### 再配置の基本方針

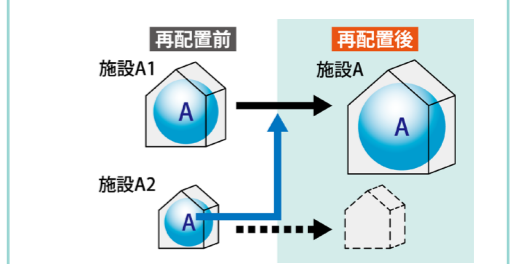
- 1 南知多町の地勢や将来都市像に配慮した施設配置の見直し
- 2 本当に必要な機能を見極めた持続可能な公共サービスの提供
- 3 「あたらしい地域の拠点」をつくり新たな価値を創出
- 4 多様な担い手が主体となった公共施設の運営
- 5 町民の生活の質の向上に向けた跡地の有効活用

### 削減目標(総延床面積)の設定

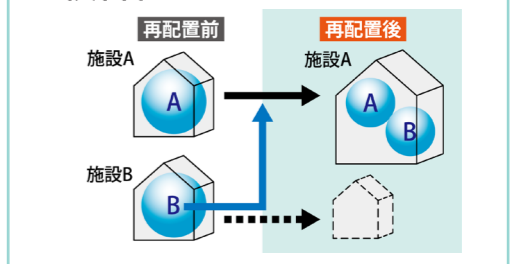


### 再配置の手法(例)

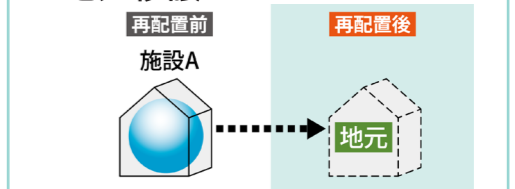
#### ■集約化(統合)



#### ■複合化



#### ■地元移譲



# 内海地区



**13 南知多町民会館** 集約施設

全町利用

目標残耐用年数 34年

グラウンド

維持 567.6㎡

**32 南知多中学校の校舎を  
利用した内海小学校** 複合施設

地区利用

目標残耐用年数 21年

小学校 NEW

図書室 NEW

貸スペース NEW

維持 5148.1㎡

**82 城下住宅 ※C棟のみ**

その他利用

目標残耐用年数 17年

町が管理する住宅

維持 488.4㎡

**地図内凡例**

- 地域中心拠点
- 土砂災害特別警戒区域
- 津波災害警戒区域基準水位
  - 5.0m以上
  - 3.0m以上 5.0m未満
  - 2.0m以上 3.0m未満
  - 1.0m以上 2.0m未満
  - 0.5m以上 1.0m未満
  - 0.5m未満

※令和元年7月愛知県指定津波災害警戒区域における基準水位

**施設カード内凡例**

<ul style="list-style-type: none"> <li>文化機能 明治時代からある町の重要な文化財</li> <li>学習・交流機能 町民が利用できる会議室や調理室</li> <li>運動機能 町民が利用できる体育館や運動公園</li> <li>福祉機能 お年寄りが利用できる会議室</li> <li>子育て機能 保育園や子育て支援が受けられるところ</li> <li>学校教育機能 小中学校や学校運営に必要なところ</li> <li>行政機能 役場や地区のサービスセンター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災機能 防災センターや消防団の車庫と集会所</li> <li>社会教育機能、図書機能 本を借りるところや資料館</li> <li>観光機能 観光客が訪れるところやフェリー乗り場</li> <li>医療機能 島の診療所や保健センター</li> <li>公営住宅機能 町が管理する住宅</li> <li>その他機能 駐車場や生活に必要なインフラ</li> </ul>	<p>目標残耐用年数</p> <p>~29年 30~49年 50年~ 新築</p> <p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>津波浸水区域</p>
---	---	---

内海小学校を複合施設化することで、誰でも利用できるようになるね

## 観光施設

**18 南知多町観光案内所**

その他利用

目標残耐用年数 47年

観光客向けの案内所

維持 1111.7㎡

**20 内海野外劇場** その他利用

目標残耐用年数 24年

年間利用者数(令和3年度) 31143人

維持 1333.3㎡

**21 内海海岸東浜小柳緑地センターハウス**

その他利用

目標残耐用年数 56年

観光客向けのトイレ休憩所、シャワー

維持 359.6㎡

**91 渚の交番** その他利用

目標残耐用年数 新

海水浴場を管理するスペース

新築 150㎡

## 文化財

**14 梅原邸** その他利用

文化財

維持 384.1㎡

**15 尾州廻船内海船主内田家** その他利用

文化財

維持 1193.8㎡

## 地区利用施設

**27 南知多町公民館内海分館** 地区利用

目標残耐用年数 18年

年間利用者数(令和3年度) 4708人

データ無し

維持 1175.7㎡

**3 山海公民館** 地区利用

目標残耐用年数 51年

年間利用者数(令和3年度) 1798人

維持 453.4㎡

**9 山海ふれあい会館** 地区利用

目標残耐用年数 30年

年間利用者数(令和3年度) 1248人(体育館のみ)

934人(体育館のみ)

維持 2541.3㎡

**26 内海小学校** 地区利用

目標残耐用年数 29年

全校生徒数(令和3年度) 201人

維持 4257.7㎡

**43 内海保育所の敷地に子育て支援センター・どひく園を増築** 集約施設

地区利用

目標残耐用年数 45年

保育園と子育て支援センター

増築 1364.7㎡

**64 内海防災センター** 地区利用

目標残耐用年数 73年

防災センター

維持 415.3㎡

**68 第1分団 第2班(山海)** 地区利用

目標残耐用年数 16年

消防団車庫

車庫のみに減築 50.0㎡

**92 新内海地区消防詰所** 集約施設

地区利用

目標残耐用年数 新

消防団員が利用するスペースと車庫

建築予定

新築 150㎡

サービスセンターでの証明書発行等は、DX化による代替を推進していきます

# 豊浜地区

## 全町利用施設

**1** 南知多町公民館 **全町利用**

目標残耐用年数 29年

年間利用者数(令和3年度) 468人

478.8㎡

**16** 南知多町総合体育館 **全町利用**

目標残耐用年数 47年

貸スペース

アリーナ、柔剣道場、トレーニングルーム

維持 5050.2㎡

**17** 南知多町運動公園 **全町利用**

目標残耐用年数 37年

グラウンド、テニスコート

維持 183.2㎡

**42** 南知多町学校給食センター **全町利用**

目標残耐用年数 77年

給食の調理スペース

貸スペース

維持 1434.8㎡

**61** 水防資材倉庫 **全町利用**

目標残耐用年数 -20年

年間利用者数(令和3年度) データ無し

291.4㎡

**66** 豊浜防災センター **地区利用**

目標残耐用年数 57年

防災センター、消防団員が利用するスペース

維持 413㎡

**69** 南知多町保健センター **全町利用**

目標残耐用年数 41年

健診やこどもの健康相談室

維持 1404.2㎡

**56** 南知多町役場 **全町利用**

目標残耐用年数 25年

町の中心、窓口

維持 3263.1㎡

町民も利用できる新しい中学校が建設されるね



## 地区利用施設

**11** 若子会館 **地区利用**

目標残耐用年数 14年

年間利用者数(令和3年度) 1000人

113.2㎡

**12** 旧中洲保育所 **地区利用**

目標残耐用年数 39年

年間利用者数(令和3年度) データ無し

582.9㎡

**10** 豊丘むくろし会館 **地区利用**

目標残耐用年数 35年

年間利用者数(令和3年度) 2771人

546人

2223人

1482.1㎡

**44** かるも保育所 **地区利用**

目標残耐用年数 35年

定員に対する入園児数の割合 58%

599.3㎡

**27** 豊浜小学校 **地区利用**

目標残耐用年数 35年

小学校

維持 5181㎡

**33** 旧豊浜中学校(廃止)を建替えた新南知多中学校 **複合施設**

目標残耐用年数 新

中学校

図書室

貸スペース

建替え 5400㎡

**50** 山田老人憩の家 **地区利用**

目標残耐用年数 2年

年間利用者数(令和3年度) 1000人

205.7㎡

**51** 初神老人憩の家 **地区利用**

目標残耐用年数 10年

年間利用者数(令和3年度) 270人

72.9㎡

**66** 豊浜防災センター **集約施設**

目標残耐用年数 57年

防災センター、消防団員が利用するスペース

維持 413㎡

**69** 第2分団第1班 **地区利用**

(中洲) 目標残耐用年数 53年

(東部) 目標残耐用年数 43年

(鳥居) 目標残耐用年数 42年

27.54㎡

**72** 地区利用

(小佐) 目標残耐用年数 41年

年間利用者数(令和3年度) 12人

59.4㎡

**70** 第2分団第1班(中村) **地区利用**

目標残耐用年数 39年

年間利用者数(令和3年度) 52人

98.1㎡

**74** 第2分団第2班(山田) **地区利用**

目標残耐用年数 10年

年間利用者数(令和3年度) 95人

53.1㎡

**75** 第2分団第2班(山田) **地区利用**

目標残耐用年数 10年

消防団車庫

車庫のみに減築 50㎡

## 全町利用施設

**49** 南知多町保健センター **全町利用**

目標残耐用年数 41年

健診やこどもの健康相談室

維持 1404.2㎡

**56** 南知多町役場 **全町利用**

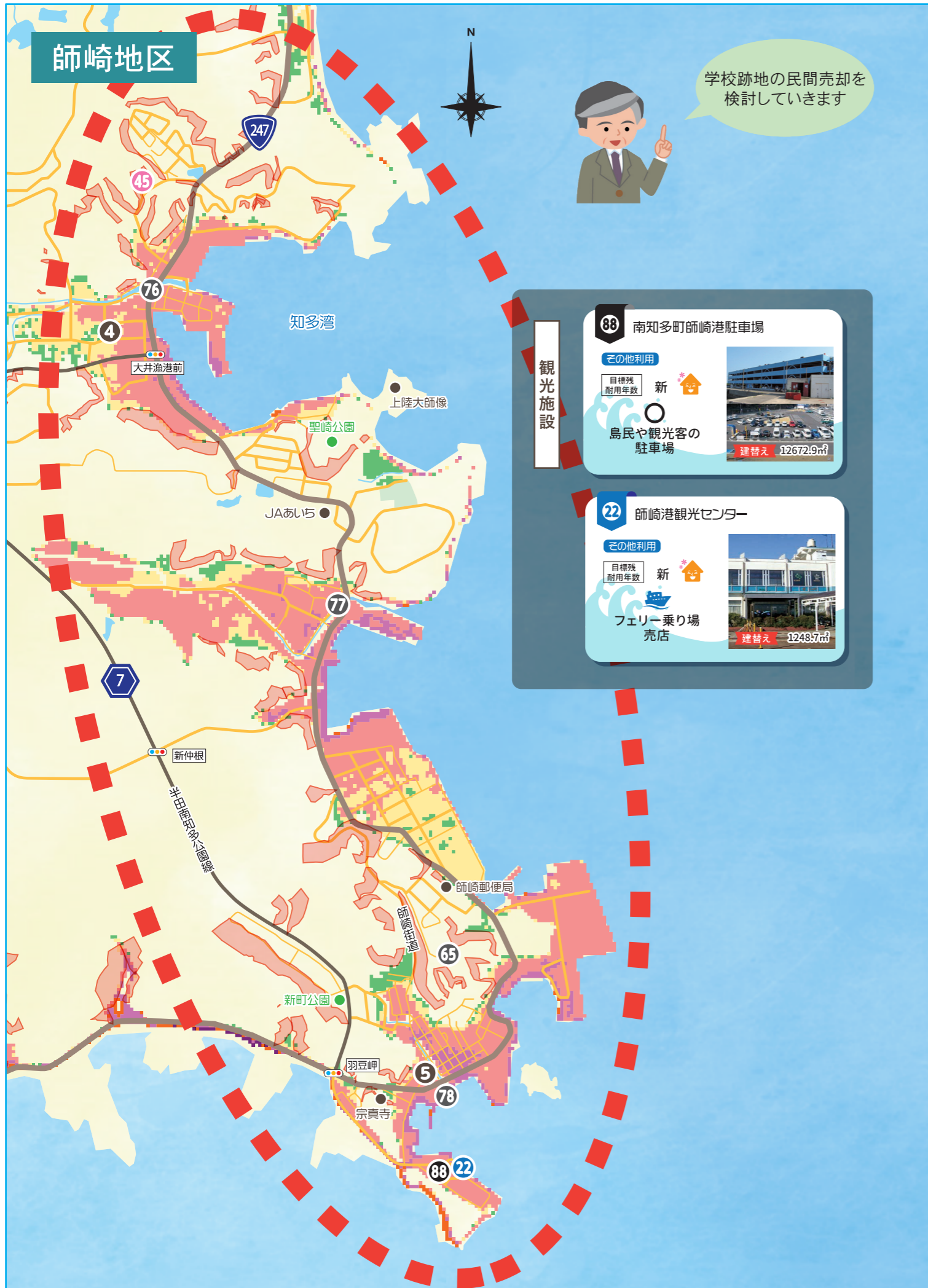
目標残耐用年数 25年

町の中心、窓口

維持 3263.1㎡

貸館機能は、総合体育館や南知多町学校給食センターの会議室をご利用いただけます





サービスセンターでの証明書発行等は、DX化による代替を推進していきます



# 篠島地区



篠島には比較的  
新しい施設が多いから、  
30年後も利用できるね



## 地区利用施設

**7** 篠島開発総合センター  
**59** 篠島サービスセンター

地区利用

目標残耐用年数 37年

貸スペース  
サービスセンター

維持 1014.9㎡

**23** 篠島渡船ターミナル (島の駅 SHINOJIMA)

地区利用

目標残耐用年数 70年

フェリー乗り場  
売店

維持 485.8㎡

**30** 篠島小学校

地区利用

目標残耐用年数 35年

全校生徒数(令和3年度) 86人

維持 2133.8㎡

**35** 篠島中学校の校舎を利用した  
篠島小学校

地区利用

目標残耐用年数 36年

小学校

維持 2764.1㎡

**37** 旧篠島小学校(廃止)

目標残耐用年数 14年

年間利用者数(令和3年度) 機能廃止

1764.6㎡

**54** 篠島診療所

地区利用

目標残耐用年数 49年

診療所

維持 199.8㎡

**63** 篠島防災センター

地区利用

目標残耐用年数 73年

防災センター

維持 194.6㎡

**79** 第4分団(篠島)

地区利用

目標残耐用年数 39年

消防団員が利用するスペースと車庫

維持 228.4㎡

## その他施設

**38** 篠島教職員住宅(浦磯) その他利用

目標残耐用年数 33年

年間利用者数(令和3年度) 12人

289㎡

**39** 篠島教職員住宅(汐味) その他利用

目標残耐用年数 39年

年間利用者数(令和3年度) 10人

256㎡

**84** 旧篠島ごみ焼却場(廃止)

年間利用者数(令和3年度) 機能廃止

1764.6㎡

**85** 旧篠島し尿処理場(廃止)

年間利用者数(令和3年度) 機能廃止

45.6㎡

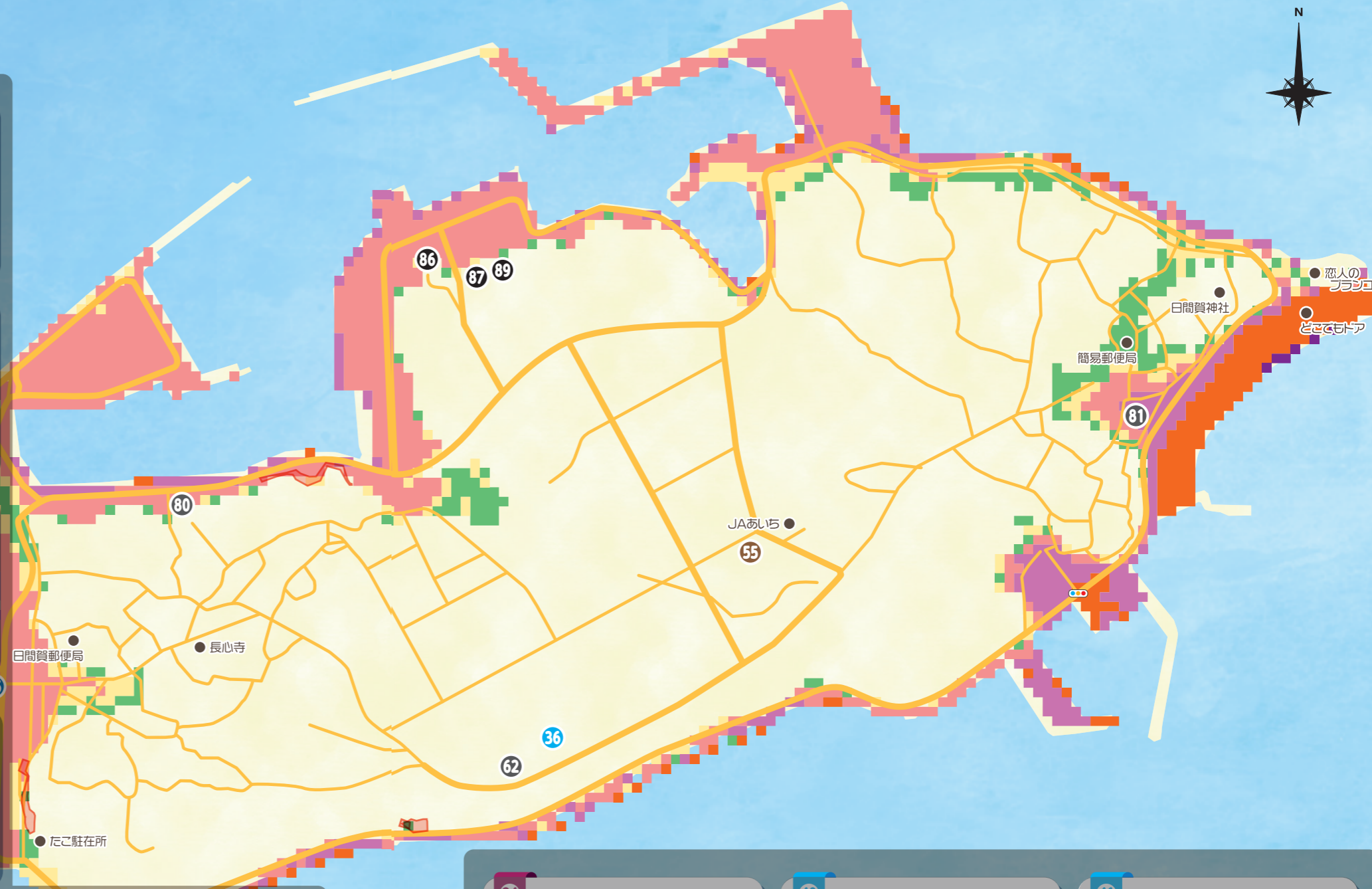
**84** 旧篠島ごみ焼却場(廃止)  
**85** 旧篠島し尿処理場(廃止)  
の敷地にストックワードを新築

その他利用

目標残耐用年数 新 建築予定

新築 70㎡

# 日間賀島地区



**25** 日間賀島渡船ターミナル (日間賀島ポート ひまほ) 地区利用

目標残耐用年数 75年

フェリー乗り場 売店

維持 288㎡

**55** 日間賀島診療所 地区利用

目標残耐用年数 56年

診療所

維持 259.6㎡

**8** 日間賀島公民館 地区利用

**60** 日間賀島サービスセンター 地区利用

目標残耐用年数 35年

年間利用者数(令和3年度) 1416人

データ無し

528㎡

**53** 日間賀西老人憩の家 地区利用

目標残耐用年数 9年

年間利用者数(令和3年度) 780人

157.9㎡

**62** 日間賀島防災センター 集約施設

地区利用

目標残耐用年数 72年

防災センター、消防団員が利用するスペース

維持 208.6㎡

**80** 第5分団 地区利用

日間賀島西 目標残耐用年数 42年

日間賀島東 目標残耐用年数 47年

消防団車庫 消防団車庫

車庫のみに減築 81.1㎡

車庫のみに減築 69.5㎡

**83** 日間賀島一般廃棄物最終処分場 地区利用

目標残耐用年数 50年

年間利用者数(令和3年度) データ無し

237.9㎡

**89** 日間賀島浄化センター 地区利用

目標残耐用年数 56年

処理施設

維持 815.2㎡

**31** 日間賀小学校 地区利用

目標残耐用年数 27年

全校生徒数(令和3年度) 93人

3406.8㎡

**36** 旧日間賀中学校(廃止)を建替えた日間賀小学校・日間賀保育所 複合施設

地区利用

目標残耐用年数 新

小学校 保育園

貸スペース サービスセンター

建替え 2446.1㎡

**47** 日間賀保育所 地区利用

目標残耐用年数 0年

定員に対する入園児数の割合 52.2%

580.3㎡

**24** 日間賀資料館 その他利用

目標残耐用年数 45年

年間利用者数(令和3年度) 2980人

114㎡

**40** 日間賀島教職員住宅(北舎) その他利用 (廃止)

年間利用者数(令和3年度) 11人

機能廃止

289㎡

**41** 日間賀島教職員住宅(南舎) その他利用 (廃止)

目標残耐用年数 36年

年間利用者数(令和3年度) 15人

533㎡

**86** 旧日間賀島ごみ焼却場(廃止)

年間利用者数(令和3年度) 機能廃止

260㎡

**87** 旧日間賀島し尿処理場(廃止)

年間利用者数(令和3年度) 機能廃止

45.6㎡

**86** 旧日間賀島ごみ焼却場(廃止) **87** 旧日間賀島し尿処理場(廃止)の敷地にストックヤードを新築 地区利用

目標残耐用年数 新

ストックヤード 新築 93㎡

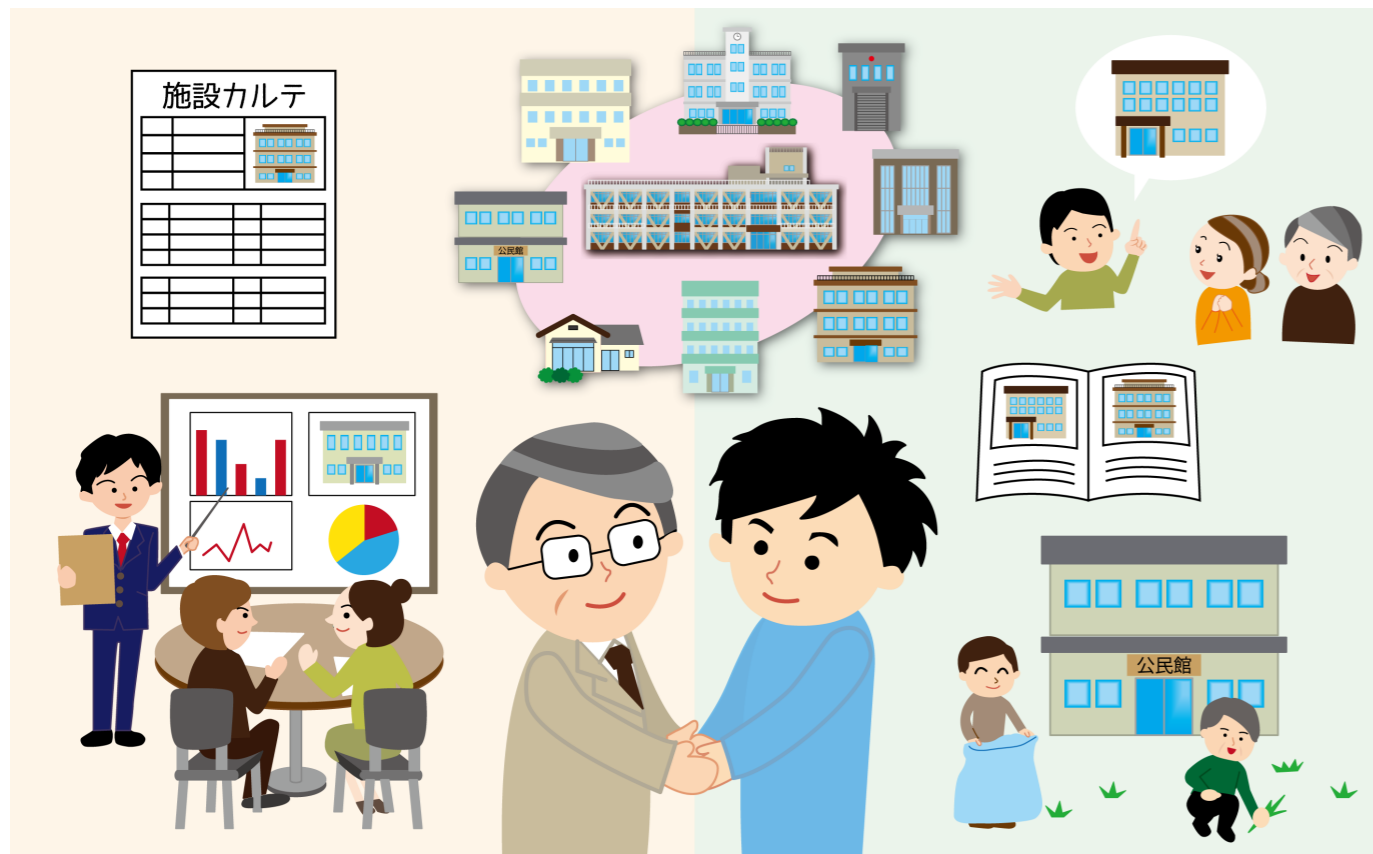
## 地区利用施設

## その他施設

新しい日間賀小学校に  
様々な機能が複合されるね



# 計画の推進に向けて



## 私たち町民の役割

### ◇ 町民から町民への啓発

- 本計画が実行性の高い計画となるためには、計画の内容を町民が理解し機運を高めることが必要です。そのためには、従来の行政からの一方的な発信のみではなく、町民から町民へ啓発することで、本計画の理解促進を図ります。

### ◇ 交流や地域コミュニティの場としての公共施設(公共サービス)利用

- 公共施設が、町民の交流や地域コミュニティの場としての拠点となるよう、各種催しや会合等での積極的利用に努めます。
- 広報みなみちたに掲載の行政情報を確認し、公共施設で開催されるイベント等に参加します。

### ◇ 町民による施設の維持管理

- 町からの事業者への委託業務での管理だけでなく、町民が施設の掃除や除草など積極的にボランティアを実施して、町民が施設管理に携わります。
- 施設管理に携わることで、施設の不具合等を早期に発見し町に伝え、安全な施設維持に繋がります。

## 町民と行政が一緒に行う役割

### ◇ 町民から町民への啓発

- 人口減少に伴う財源の不足、役場職員数の減少が進む中、従来と同様な公共施設運営は困難を極めることが想定されます。町民が自分事として捉え、町民自らが施設運営を担う体制づくりを検討します。
- 特に学校を核とした「あたらしい地域の拠点」となる複合施設については、多様な機能が集約し、多様な世代の方が利用する施設となることが想定されます。この「あたらしい地域の拠点」を運営するコーディネーターを安易に民間事業者任せにするのではなく、町民が主体となった運営も視野に検討していきます。

### ◇ 本計画の進捗管理

- 本計画は社会情勢等の変化や町民ニーズの変化といった環境変化により、今後の見直し検討が必要となります。その際には、町民が求める意向が確実に見直し段階にて反映させるために、庁内・町民が協働で見直しができる体制構築を検討します。

### ◇ DX化への対応

- 本計画を推進することで公共施設の量は削減されますが、これにより、公共サービスを利用する機会が失われてしまえば意味がありません。適正な量の公共施設で、より魅力的な公共サービスを提供する必要があります。
- その1歩として、デジタル技術を用いた新たな公共サービス提供方法の検討を行います。町民も積極的にデジタルを活用できるような仕組みを検討していきます。

## 参考 公共施設へのDX導入事例

証明書のコンビニ発行	文化財のアーカイブ化	施設予約システム
<p>マイナンバーカードを利用し、市区町村が発行する証明書を、全国のコンビニで取得できるサービスのこと</p>	<p>文化財の資料整理からデジタル化、データベース構築までを行い、資料を「保存・管理・活用」できるようにすること</p>	<p>利用予約、支払い、鍵の発行まで、オンラインで全ての手続きが完了できるシステムのこと</p>
<p><b>町民のメリット</b> サービスセンターまで訪れる必要がなく、いつでも簡単に証明書が取得可能</p> <p><b>行政のメリット</b> サービスセンターの維持管理費用、人件費の削減</p>	<p><b>町民・行政のメリット</b> 文化財をデータベースで管理し紛失を防ぐほか、デジタル化することで、地域住民や観光客へ向けて、文化財や地域の魅力をアピールすることも可能</p>	<p><b>町民のメリット</b> 利用申請や支払いで窓口まで訪れる必要がなく、いつでも気軽に予約や空き情報の確認が可能</p> <p><b>行政のメリット</b> 利用申請のペーパーレス化、人件費の削減</p>



◆ 問合わせ先 ◆

南知多町 総務部 企画財政課

電話: 0569-65-0711 (代)